

## 令和5年度 鯖江市 総合戦略推進会議 第2分科会 議事要約

### <開催概要>

- ・日時：令和5年10月3日（火）午後2時00分～午後4時00分まで
- ・会場：鯖江市役所 4階 第2委員会室

#### ・議事

1. 開会
2. 議事
  - (1) 基本目標2の各施策実施事業、事業内容およびKPIについて
  - (2) 基本目標2のKPIおよび目標のタイトルについて
3. 閉会

#### ・配布資料：

- 資料No.1 基本目標・基本施策の体系図
- 資料No.2 基本施策1～7（案）

## 1. 開会

## 2. 議事

### (1) 基本目標2の各施策実施事業、事業内容およびKPIについて

資料No.1を事務局より説明

委員	・基本目標2について意見を頂きたい。
事務局	・サブタイトル「市民力・日本一 若者が集い、住みたくなるまちをつくる」とし、KPIは「若者の社会減の抑制」で「△151」としている。資料のとおり、人口ビジョン完成後、決定予定である。
委員	・「若者」とは、何歳くらいを想定しているのか。
事務局	・学生を対象としているので、グレーではあるが、大学生くらいまでを想定。事業によってとらえ方は変わる。転入者等については30代も想定。捉えるものによって変わる。
委員	・「社会減」というのは、学生が関わる範囲、アルバイト等の範囲を想定しているのか。
事務局	・「社会減」は人口を捉えるうえでの決まった言葉。転入転出の差のことをいう。若者が出ていく数を減らしたいということである。
委員	・20代、結婚している方は「若者」と捉えないのか？
政策経営部長	・若者には30代も入ると思う。若者の定義はあるかもしれないが、学生だけではなく、20、30代まで捉えると思う。若者、女性といった限定するワードを用いることについて、多様性を重視する中、範囲を狭める表現はどうかという意見もあった。「若者が集い、住みたくなるまちをつくる」というフレーズについてもご意見をいただければと思う。我々もこの言葉に固執しているわけではない。
事務局	・KPIに対しての位置付けは15～29才としている。KPIについてのみの考え方であるとご理解いただきたい。
委員	・タイトルはこのままでよいか。
委員	・「若者が」となると、自分も関わりたいがはいっていけない感じがする。
事務局	・「若者が」を「人が」にするなど、考えられる。若者だけでなく、中高年を含むことができる。範囲を狭めるかどうか、違和感があるなら変えていくご意見もいただきたい。
委員	・「若者をサポートする」だと自分も、みんながはいるから良いのではないか。
政策経営部長	・ここの表現は見直しを検討する。

## (2) 基本目標2のKPI および目標のタイトルについて

資料No.2を事務局より説明

### 基本施策1について

委員	・協議事項(2)に進んでよろしいか。基本施策1から順番に協議していきたい。ご質問、ご意見があればどうぞ。
事務局	・午前中の分科会では、市の事業多岐にわたっているが、総合戦略に出すときには、事業をしぼって表現することで、市民など見る人にとってもわかりやすくなるのではというご意見があった。タイトルと施策とKPIがつながっていないとわかりにくい。P4のKPIとP3の施策・事業、タイトルが繋がっている方が分かりやすいかどうかについてもご意見をいただきたい。
委員	・P3のJK課に関する事業について、委員、ご意見はどうか。
委員	・OG課を加えてもらいたい。JK課を卒業したら、それだけではない。
委員	・OG課を加えてもらいたいとのこと。
政策経営部長	・OG課を含めて修正します。
事務局	・事業名には入っていないが、P4のKPIには入っている。P3にJK・OG課を加えることで見える化できると思う。どうか。
委員	・「市内高等学校への伴走支援数」の現状値が「-」になっているが、どういうことなのか。探求課の取組のみが、伴走支援の対象なのか。
事務局	・鯖江高校にはいろんな課がある。全体での探究活動への伴走活動をしていきたいと考えている。
委員	・伴走とはどういうことか。自分たちが支援したコウロギ食の取組は、伴走支援としてカウントされないのか。
総務部長	・実際の取組はあるが、指標としては新規の指標となるため、「-」としている。
委員	・他の市民が活動支援していることについても、入れるといいのではないか。「おお、鯖江！」って感じになると思う。
総務部長	・魅力向上事業に、「市民がサポートする」も追加していきたい。
委員	・自分がやっているとそのページを確認すると思う。記載しておいた方よい。
政策経営部長	・今までも市民団体に入ってもらっている。記載していきたい。
委員	・今回の成果指標は新しくなったということなのか。「プロジェクトサポートの新企画数」は、OG課が関わって「2」になっているのはどうしてか。
総務部長	・OG課がサポートして行う企画数が少ないとのことだが、JK課の企画の内容による可能性がある。
政策経営部長	・1件ではないという考え方もある。見せ方だと思う。OG課としてどうしてほしいか、ご意見をいただければ変更可能である。「サポート」の考え方によると思う。
委員	・P4のKPIに「移住相談の件数とアクセス回数」とあるが、数字として意味がないのではないか。実際に移住した数や移住させたい数が大切ではないか。Uターンの数とかでない、ぼやけた数字ではないかと思われる。
事務局	・移住相談の件数やHPのアクセス数は、『どれだけさばえに関心を持ってもらえたか』がわかるKPIだと考えている。

	転入者を捉えることはできるが、転入目的を数字として捉えることが行政としてはできない。定住交流サイトを経由しての転入などもある。正確な数字を捉えることができないので、入り口のところの数字を KPI として利用している。
政策経営部長	・老人ホームなどへの入居も移住者となる。ここで記載している「移住」とは違うと思う。「相談に来た人」が関係人口・交流人口の増加につながる数字だと思い、こういう KPI を設定している。ご理解いただければと思う。
委員	・相談後、どんなフォローをしているかわからないが、多少の追いかけ、カウントはしているのか？
事務局	・どんな理由等は記録している。補助金等の利用等についてもフォロー等も対応している。
委員	・そこまでやっているのなら、「これくらいやったらなら、こういう風になっている」など、KPI として使えるものではないのか。
事務局	・これまでそういう統計の取り方をしていない。KPI に適当かどうかは不明。試みしてみることは考えられる。
政策経営部長	・窓口づくりをやったということを KPI としていれることは考えられる。
委員	・HP のアクセス数は見れば上がるのか。
事務局	・あがる。
委員	・みんなで見てあげたら、目標値を達成できる。
事務局	・市の方に見ていただいても良いと思う。市民の方に見ていただくことも考えて HP づくりをしている。
委員	・魅力ある HP にするとよい。がんばっていただきたい。
委員	・UI ターンについて KPI を設けることについてどうか。
政策経営部長	・移住定住イベント、眼鏡フェス等を利用して UI ターンに関する取組をしている。その件数を入れることは考えられる。検討する。

## 基本施策 2 について

委員	・基本施策 2 (P5~7) について、ご質問、ご意見があればどうぞ。
委員	・KPI の関係人口について、どのように計算しているのか。
事務局	・県の報告書「関係人口の・・・」を基にしている。16 ほどの事業の参加者数、元々実施していた事業への参加者数の累計である。アートキャンプ、JK 課の取組などもカウントしている。700 ほどの上積みを目標として指標としている。
委員	・ふるさと納税が KPI にあがっているが、ふるさと納税で効果はあったのか。
政策経営部長	・初年度 2 億、昨年度 8 億、今年度 10 億と、3 倍から 4 倍上がっている。返礼品としてはめがね (めがね券) が主力となっている。金額に対し、件数はあがっていないが、効果が出ている。
委員	・めがねを中心にファンを増やしていくのは良い。
委員	・ふるさと納税したいけど、金額が高くてできないという相談を受けている。
政策経営部長	・ふるさと納税の制度としては 5000 円で 2000 円について税控除なしとなっている。 ・2000 円 + 寄付額の 3 割を納税していただく仕組みとなっており、返戻品無しでもできる。金額が高いからできないというものではないと思う。良い返礼品を選べば高くなる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よい返礼品を用意しつつ、気軽にできるようになるとよい。HP から見るのもわかりにくいと感じている人がいる。少ない金額なら吉川ナス 2 個で 3000 円とか、食べ物でひっばってもよいと思う。</li> </ul>
政策経営部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10000 円納税していただいても、5000 円は手数料・送料でとられる。5 億といっても、実際は半額程度となる。そういうことを含めて金額を設定している。</li> <li>・ 返礼品については河和田の事業所さんに依頼して、がんばっていただいている。窓口を増やしたり、発信力 UP、商品の魅力 UP にも取り組んでいる。</li> </ul>

### 基本施策 3 について

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本施策 3 (P8~9) についてご意見をいただきたい。</li> <li>・ P9 の KPI 「新規若者移住・就業者数」の現状値 85 名について、どこからきている人なのか、今さばえのどこにいて、何をしている人なのか。</li> </ul>
商工観光課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河和田の企業にヒアリング等をしている。RENEW などにも確認している。フリーランスで入っている人もいと聞いている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 ページの「交流人口」と「関係人口」の違いはどういうものなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流人口は「足をはこんでくれている人」、関係人口は「ふるさと納税など関係を持ってもらっている人」など。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI の「工房ショップ等回収件数」の 21 件は累計か。1 年で 4 件増やすことを想定しているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 年で 4 件の増加を目標としている。河和田地区が対象となるが、ショップなども既にあることから、ここから急激に増加することも少ないと思うので、一年に 1 件程度を考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ショップということは販売を伴うということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのとおり。</li> </ul>

### 基本施策 4 について

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本施策 4 (P10~12) について、ご意見をいただきたい。</li> <li>・ 男女共同参画ネットワークでも、コロナ禍前は「鯖江フェスタ」を嚮陽会館で開催してきた。福井県内外から 600 名は来ていただいて、鯖江を知っていただいて、交流等が活発にできていたのだが、コロナ禍で低迷。人を集めにくい状況になっている。100 名ほどの研修会・講習会にしておこうかと思うなど、弱気になっており、活動が低迷している。</li> <li>・ 地区の公民館事業については、納涼祭など、地区地区でいろんなイベントがはじまっている。鯖江市民は地区に対する愛着がよくなる、一生懸命やっていると感じる。一方で若い人の参画が少なく、寂しく感じる。</li> </ul>
政策経営部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこも若い人、新しい人に参画してもらおうことが課題となっている。どういうことをしたらよいか、各課工夫しながら (SDGS フェス)、見える化、敷居をさげて入りやすくする、意識をかえていただく工夫をしながら今後も進めていきたいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P12 の KPI 「まちづくりの提案をする団体数」について、団体が増えればいいのか。団体を増やすことが目的になっていないか、と思う。いろんなことをやっているが、事業の整理も必要ではないか。うまくいっていることをより伸ばすなど、取捨</li> </ul>

	<p>選択していかないといけないのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルにある「絆を強める」という意味では、1つのイベントに関わる人が多くなる方が、絆につながるのではないかと思う。</li> </ul>
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり提案の団体は、基金採択、提案型事業は双方向の取組を「まちづくり提案の団体」としてカウントしている。巷のいろんな団体については、指標の対象として捉えていない。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体が増えればきずなも強まるという考え方なのか。</li> </ul>
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あたらしい事業を作らないと増やせない現状である。本来なら事業の提案数だと思うが、団体数としている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業数が増えていくこと、団体数が増えていくことを目標としているのか。</li> </ul>
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶対到達しないといけない、自分の首を絞める指標にはしたくない。方向性のひとつだと思う。60ないといけないというわけでもないが、位置付けていきたい。</li> </ul>
政策経営部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の設定ということでご理解いただきたい。</li> </ul>

#### 基本施策5について

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本施策5（P13～16）についてご意見をいただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本施策5になるのか基本施策1になるのかわからないが、移住に関する目標があるが、インバウンド、外国人向けの記述がない。海外出身者に優しいまち、インバウンドへの対応、外国語でのPRコンテンツ数などはどうか。</li> </ul>
商工観光課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P14で「インバウンド消費に対応できる・・・」等、記載をしている。直接事業内容をあげていないので、検討する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P15③西山公園の充実の「嚮陽会館複合交流施設整備事業」の「屋内遊技場と市民活動交流センター機能を加える」は、会館の中で対応するものなのか。</li> </ul>
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の建物の中に2つの機能を包含していくことを考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつごろを予定しているのか。</li> </ul>
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和11年度にすべて終わり。部分的に供用はしていく予定である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P15の西山公園の「ナイトコンテンツ」とはどのようなものを想定しているのか。イベントなのか、イルミネーションなのか、何をもってここに記載しているのか。西山公園の近くにオープンテラスカフェを誘致するといったことを考えているのか。</li> </ul>
総合政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間景観にも関連するが、イルミネーションを増やすことを考えている。冬季の西山公園への来客を増やすことを想定。クリスマスに向けた夜間の取組を予定している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・④の観光プランの充実として、「さばかん」の充実とあるが、「さばかん」はサイトとしてあまりよくない。充実よりも新しく作る方が良いのではないかと。元から英語対応、国内外どちらでもできるようにするのはいかがか。</li> </ul>
商工観光課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度パンフ等、多言語化対応予定している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語が必要な場合は監修させていただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信が遅い。元ができてなかったら難しいと思う。「さばかん」はわかりにくいので、皆の意見をきいて取り組んでほしい。市民と一緒にやっつけていける鯖江になってほしい。</li> </ul>

委員	・ 前回のミーティングの時にも思ったが、情報発信が遅いと思う。市の職員手が回らないこともあると思われるし、若者・高齢者で SNS 等の対応も異なる。情報発信チーム立ち上げて、市と市民が連携をとりながら発信していくのはどうか。
政策経営部長	・ やっていききたいと思うが、なかなかできない。ご理解いただきたい。出せる情報は出していききたいと取り組んでいる。イベントなどを複合的にやってにぎわいをつくろうとすると、情報共有が難しくなっていく。オンライン等を利用して情報共有を図っていききたいと思う。
委員	・ 「タクシーを活用した観光モデル事業」とあるが、タクシー会社が 2 社しかないのにこんなことできるのかと思う。
政策経営部長	・ 県の事業があり、越前市等も取り組む意向がある中で、鯖江市がやらないわけにもいかない。タクシー不足については別に対応したい。
委員	・ 丹南地区をまわるなど、隣接市町と連携した取組を記載することはできないのか。
政策経営部長	・ 県から事業提案されており、助成・支援策を検討している。
商工観光課長	・ 広域タクシーについては予算化している。越前町も予算化している。越前市・南越前町は来年度予算の獲得に向けて動いている。
委員	・ 駅東についてはどうなっているのか。 ・ 駅東の第 1・第 2・第 3 の駐車場は満車が続けている。舟津神社横の無料駐車場も満車で、舟津神社の駐車場に停めているものもある。どう考えているのか。
政策経営部長	・ 新幹線の延伸で、鯖江駅に特急が停まらなくなることから、利用客について計画上数字を弾いているが、駐車場不足は解消する可能性がある。駅が鯖江の顔であることは変わらない。物価高騰、人件費高騰で整備計画が厳しい状況だが、ソフト面のおもてなしは充実させていきたい。人に感動していただいてお帰り頂く対応をしていきたい。
委員	・ 建物にお金をかけずに、人にかけてもらえると嬉しい。

#### 基本施策 6 について

委員	・ 基本施策 6 (P17~19) についてご意見をいただきたい。
事務局	・ P19 の KPI、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う割合」は、新しい項目なので、本当は現状値「－」と表現すべきであるが、本日の資料では現状値を記載している。全国学力・学習状況調査の結果から設定している。
委員	・ ④の SDGS の推進について、SDGS センターが指定管理になったら、指標が変わるのか。
政策経営部長	・ SDGS に取り組む姿勢には変更はない。センターを土日開館できるようにするため、指定管理を導入する。めがね会館と同じく水曜休となる。民間のノウハウを生かして発信・事業展開をすすめ、SDGS の推進に引き続き取り組んでいきたい。
委員	・ P17 に「IT のまちとして、市内小学校で子ども向けプログラミング教室を実施」とあるが、いつ行っているのか。
教育委員会事務局	・ 段階的に実施してきている。クラブ活動などでもしている。今年度からさばえ東小学校をパイロットスタディとして、hana 道場に高度なプログラミング教室の実施を委託する予定である。2020 年以降、学習指導要領の変更に伴い、小学校 4 年生などを対象に実施している。クラブ活動等でも実施している。

委員	・ 高校生は対象として入れないのか。実社会に出るタイミングを数年後に控えている。
教育委員会事務部長	・ 市の教育委員会として数等を把握できるため、小中学校を対象としている。
政策経営部長	・ 鯖江高校だけなら数を把握することができる。鯖江高校の生徒は 700 名程度である。
委員	・ 鯖江高校だけでも入れるとよいと思う。中学生は無関心な子が多い。むしろ、18 歳の成人を控えた方に聞くのも良いと思う。
政策経営部長	・ 「さばえSDGsフェス」では、鯖江高校生の 100 名以上が運営スタッフとしてかかわっていた。鯖江高校生の意識は高いと思う。鯖江高校では、SDGs 部として 30 人弱が課外活動で参加している。意識が高い。
委員	・ 基本施策 5 の⑥でも、基本施策 6 の③でも「ふるさとの歴史・文化の再発見」があがっている。同じ事業があがっているのは、意味合いが重複するから基本施策 5 でも 6 でも取り組むということか。
事務局	・ そのとおり。再掲と記載するところだと思う。
委員	・ 「シビックプライド」、「丹南ものづくり」、「IT のまち」を根付かせるには、まだまだやっていかないといけないことがある。ものづくりについて、もっとやっていかないと、シビックプライドが強固なものになっていかないと思う。 親がいきいきと働いているところなどを見て、いい町だと思われることも大切。「俺の仕事すごいことやってる！」「背中を見るだけでかっこいい！」というように、やっている仕事に誇りを持たせる事業も一緒にやっていかないといけないと思う。自信を持って自分の仕事を子どもに伝えることができる事業ができると、シビックプライドが育まれると思う。事業としてももう少し盛り込めるといい。「産業を体験し理解を深める学習事業」では少し弱いように感じる。
教育委員会事務部長	・ 「産業を体験し理解を深める学習事業」は小学生向け、「中学生体験活動支援事業」は中学校 2 年生を対象としてやっている。体験する以外にすごいものを見てもらうコースも設けている。1 日目は「最先端の職場を見学、2 日目は職場体験ということもやっている。ものづくりのまちだからこそ、その職業に就きたいと思ってもらえる事業が大切だと思い、今後も進めていきたいと考えている。KPI への反映は難しい。アンケート結果も子供の目線ということであれば記載できる可能性がある。検討する。
委員	・ 「産業を体験し理解を深める学習事業」はどのようなことをやっているのか。
教育委員会事務部長	・ 小学校 3 年のどこかの段階で、眼鏡、漆器、繊維のどれか 2 つの政策体験をしている。
委員	・ 体験することが思い出に残っている。そういうことなら 2 つ体験できてよいと思う。

#### 基本施策 7 について

委員	・ 基本施策 7 (P20～22) についてご意見をいただきたい。
委員	・ 同じ KPI (関係人口) がある。あえて同じ KPI にしているのか。
事務局	・ その通り。いまのところの事務局案として記載している。同じではない方がよいと



	思うので、分科会でご意見をいただければ見直していきたい。ご検討お願いしたい。
委員	・ シティプロモーション、鯖江の魅力というところで 市民の満足度などを数値化してKPIにするのはどうか。
政策経営部長	・ 幸福度、満足度なども考えられるが、はかりづらい指標である。アンケートで確認することも可能かもしれない。事務局から修正案を提案させていただきたいと考えているので、ご意見をいただきたい。 ・ 全体的に基本目標の文言などについて、違和感があるところを見直ししていくが、委員の皆様が集まっていただくのは大変なので、今後は、メールや書面でやりとりしながら進めていきたいと考えている。よろしいか。ありがとうございます。
委員	・ ありがとうございます。
事務局	・ メールや書面（郵送）完成度を高めていきたい。

### 3. 閉会

委員	・ 以上をもって、総合戦略推進会議 第2分科会を閉会とする。
----	--------------------------------

( 以 上 )